

●ロシア連邦内に存在する 1910～1920 年代のロシア・アヴァンギャルド芸術作品が初めて一堂に会した大展览会(2025 年)の図録

## 「我らのアヴァンギャルド」

### 国立ロシア美術館展览会図録

学術編集ゴルドフスキー、ロシア美術館出版部、2025 年刊

## Наш авангард. Каталог выставки (ГРМ).

Науч.ред.: Голдовский Г.; Авт.ст.: Карасик И., Козырева Н.и др. СПб., <Русский музей>. 2025 г. 424 с. 486 цв.илл. (245x290мм) ISBN9785933328070 (R277084)

hard ¥45,870.

■2025 年 6 月 21 日から 12 月 1 日まで Санкт-Петербург の国立ロシア美術館(Г Р М)で開催された大規模なロシア・アヴァンギャルド展览会の図録です。学術編集責任者 G.ゴルドフスキーは同館の学術部門副館長です。

■1910～1920 年代に多様なジャンルで展開したロシア・アヴァンギャルド芸術運動の作品を世界で最も多く所蔵するのは国立ロシア美術館(Г Р М)ですが、今回の展览会では、同館とその他ロシア連邦内の美術館の所蔵品を史上初めて一堂に会する形で紹介しました。本書はその貴重なカタログであり、カラーイラスト 486 点を掲載し、イリーナ・カラシク、ナタリヤ・コズィレヴァなど当代一流の芸術学者 11 名がその解説を担当しています。

■展览会は、「我らのアヴァンギャルド ロシア芸術の大実験」を正式名称とし、5か月余の間、国立ロシア美術館(Г Р М)のベヌア棟 20 室で、70 名の前衛画家の 400 点以上の作品が展示されました。そのうち他館(トレチヤコフ美術館など)からの借用は 26 点にすぎず、あとは Г Р М の所蔵品です。Г Р М のこのコレクションの核は 1920 年代の「レニングラード芸術文化博物館」の蒐集品(456 点)であり、1926 年の同「博物館」閉鎖によりそれらが Г Р М に移されたという経緯があります。

■ジャンルとしては絵画、グラフィック、磁器(シュプレマティズム)、書籍(未来派)を紹介しています。

■「イズム」(主義)としてはインプレзионизм(印象主義)→Примитивизм→Сезаннизм(セザンヌ主義)→Кубизм→Футуризм(未来主義)→Абстракционизм(抽象表現主義)→Структуризм(構成主義)をカバーしました。

■紹介した 70 名の画家のうちには世界的に有名なマレーヴィチ、フィロノフ、カンディンスキー、ゴンチャロヴァ、シャガール、ラリオーノフ、ローザノヴァ、ポポヴァ、ロトチェンコ、タトリンなどがいます。さらに「ダイヤのジャック」と「青年同盟」の画家たちの作品も含まれています。

